

平成30年度経営発達支援計画 事業評価報告書

令和1年7月12日（金） 10：30～11：45 美幌経済センター2階会議室

評価員 美幌商工会議所 副会頭 中村 仁郎 氏
美幌町経済部 部長 石澤 憲 氏
網走信金美幌支店 支店長 川上 勝利 氏
事務局 横山専務理事 深田事務局次長 伊藤指導課長

1. 地域の経済動向調査に関する事（評価A）
2. 経営状況の分析に関する事（評価A）
3. 事業計画策定支援に関する事（評価A）
4. 事業計画策定後の実施支援に関する事（評価A）
5. 需要動向調査に関する事（評価A）
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事（評価A）
7. 地域経済の活性化に資する取組（評価A）
8. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事（評価A）
9. 経営指導員等の資質向上等に関する事（評価B）

<評価員からのご意見等>

- ・現状を的確に把握・分析され、計画に沿って丁寧な事業執行がなされている
- ・一朝一夕に解決されるものではないことから息の長い支援を継続されることを期待する
- ・経営状況分析をどのように実施しているかの問いに対して、経営状況を掘下げるシートをもとに実施している旨を回答し、ご理解いただいた。
- ・職員数が限られている中で大変によく支援できていると感じる。4年目となる事業も引き続き、小規模事業者の実績向上につながる支援を期待している。
- ・美幌町の補助事業と本事業の連携を密にし、町内の小規模事業者支援を充実させていきたい。

総 評 価 表

項目	中 村 副会頭	石 澤 部 長	川 上 支店長	総評価
1. 地域の経済動向調査に関すること	A	A	A	A
2. 経営状況の分析に関すること	A	A	A	A
3. 事業計画策定支援に関すること	A	B	A	A
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること	A	A	A	A
5. 需要動向調査に関すること	A	A	A	A
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	A	B	A	A
7. 地域経済の活性化に資する取組	A	A	A	A
8. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること	A	B	A	A
9. 経営指導員等の資質向上等に関すること	A	B	B	B

< 4段評価の目安 >

A : 十分達成している B : 概ね達成している C : 半分程度しか達成できていない
D : ほとんど達成できていない

平成30年度 経営発達支援計画 実績報告書

＜美幌商工会議所 経営発達支援事業の目標＞

地域における小規模事業者の総合的な経営支援機関として、各支援機関等と連携して支援ノウハウの共有を図り、経営計画策定への支援及び実行に対して伴走型の支援を実施し、ビジネスモデルを構築しながら小規模事業者の持続的発展に向けた支援を実行します。

また、地域経済の活性化と雇用の創出を図るために、創業や第二創業、新分野進出者に対して、総合支援窓口としての機能を果たし、地域の企業創出及び、事業承継に対する解決を図り小規模事業者の持続的発展に寄与し、地域経済の底上げを目標とします。

1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】

日本商工会議所及び日本政策金融公庫等が行う経済動向調査や当所の景気動向調査結果は役員議員や地元新聞に掲載して周知するのみとなっており巡回指導時や小規模事業者の事業計画策定など持続的な発展を目指すべく情報として十分に活かしきれていない現状です。

これからは、小規模事業者の持続的発展を目指していく上での情報として、当所が実施している景気動向調査の回収率を高め、業種別の景況感、動向や見通しを把握し、窓口・巡回指導により小規模事業者の経営計画作成の支援及び経営支援に資する商工会議所各事業に反映させていきます。

- (1) 会員事業者に対する独自調査の実施
- (2) 地域経済指標の分析

支援内容	30年度目標	28年度実績	29年度実績	30年度実績
①景気動向調査 回収率向上	50%	35%	30%	37%
②景気動向調査 聞き取り調査	30件	0件	51件	58件
③計画実行フォローアップ	7件	13件	18件	18件
④一次産業動向等の情報交換会	1回	1回	1回	1回

(補足事項) ④H30.6.12 オホーツク商工会議所経営指導員連絡協議会にて(株)日本政策金融公庫 北見支店農林水産事業部と一次産業動向等の情報交換を実施

2. 経営状況の分析に関すること【指針①】

これまで経営状況の分析は、小規模事業者経営改善資金（マル経資金）の推薦時や小規模事業者持続化補助金申請時に経営改善を目的として実施するに留まっておりましたが、小規模事業者が持続的に発展していくために、個別に経営課題の抽出やSWOT分析をして、その内容を事業計画策定・実行に活用していくことが重要であります。

本計画では、各種経営セミナー等の開催や経営指導員等による巡回指導等を通して経営状況の

分析をする小規模事業者を掘り起し、経営状況の分析をしていきます。その成果を事業計画策定に活用して小規模事業者の持続的発展に向けた伴走型支援を実施していきます。

- (1) 経営分析する小規模事業者の掘り起し
- (2) 経営指導員等や専門家と連携した経営分析の実施

支援内容	30年度目標	28年度実績	29年度実績	30年度実績
①巡回訪問件数	170件	171件	176件	178件
②各種経営セミナー等開催回数	2回	9回	9回	7回
③各種経営セミナー等参加人数	15人	107人	85人	55人
④経営分析数	15件	36件	37件	28件

(補足事項) ②③内訳：各種経営セミナー7回開催・参加人数55名

※07月14日「顧客管理塾セミナー」(11名)

※09月28日「生産性向上実務セミナー」(5名)

※11月30日「財務分析セミナー」(10名)

※02月02日「事業計画作成セミナー」(8名)

09月19日「人材不足を解消する魅せる求人の出し方」(10名)

12月13日「軽減税率対応実務セミナー ～クラウド会計&POSレジ活用」(11名)

④内訳：事業計画策定8件、個別相談10件、セミナー出席6件、マル経融資申込4件

(成果報告) 上記4回のセミナーを通して事業の持続的発展に向けた事業計画策定を進める小規模事業者8社の目標に対して8社が事業計画を策定した。

3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】

経営指導員等が行う経営基盤の拡充や経営革新に資する各種制度の利用と小規模持続化補助金に対して窓口において相談に来た小規模事業者への事業計画策定支援に止まっていました。

今後は、地域経済の動向、経営状況の分析を踏まえた事業計画策定に関するセミナー等を開催し、事業計画策定を目指す小規模事業者の掘り起しを行います。

あわせて、一日公庫相談や専門家派遣による個別相談会の開催や巡回指導による事業計画策定に向けたフォローアップを図っていきます。

- (1) 事業計画策定支援に関するセミナーの開催
- (2) 事業計画作成策定に関する相談と資金調達支援の実施
- (3) 各種補助金の活用による事業計画策定支援
- (4) 創業等における事業計画策定支援と専門家派遣による支援体制

支援内容	30年度目標	28年度実績	29年度実績	30年度実績
①一日公庫相談会	3回	1回	1回	0回
②セミナー・相談会開催回数	6回	12回	16回	19回
③事業計画策定事業者数	8件	14件	9件	8件

(補足事項) ②内訳：セミナー 7 回、個別相談会 1 2 回開催（以下、個別相談会開催内訳）

- ※07 月 14 日「新規顧客開拓個別相談会」（2 社）
- ※07 月 25 日「WEB 実行個別相談会」（5 社）2 日間開催
- ※09 月 28 日「生産性向上個別相談会」（2 社）
- ※12 月 11 日「ブランド力向上個別相談会」（5 社）
- ※02 月 02 日「事業計画策定個別相談会」（2 社）
- 11 月 07 日「商品改良・販路開拓コンサルティング」（1 社）
- 07 月 24 日「事業承継個別相談会」（3 社）2 日間開催
- 09 月 19 日「ハローワーク求人作成個別相談会」（3 社）
- 02 月 02 日「事業承継個別相談会」（1 社）
- 03 月 12 日「知的財産取得個別相談会」（2 社）

(成果事項) 上記 5 回の個別相談会を実施することで販路開拓・新規顧客獲得につながった事業者が 6 6 % の 8 社となった。そのうち前年比または支援前に比べて売上が 5 % 増となる小規模事業者が 5 社とすることができた。このほか次年度以降 5 % 増を見込んでいる小規模事業者は 1 社。震災により売上減少となったが新規取引先 7 社を獲得し売上減少を食い止めることができた小規模事業者 1 社。さらに、生産性向上を図り粗利率を大幅に改善することができました小規模事業者 1 社を輩出することができました。

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

事業計画策定後の実行支援に関する巡回指導等がほぼ行われていない体制を改め、事業計画策定後、2 カ月に一度程度の巡回訪問を実施し、進捗状況の確認や必要な指導・助言などをしてフォローアップをしていきます。また専門的な分野については、新たに北海道よろず支援拠点や中小機構北海道本部と連携して専門家を招聘し、事業計画実行に向けた課題を明確にし、事業計画が実行されるバックアップ体制を構築していきます。

- (1) 事業計画実施に伴う巡回指導及び各支援機関による専門家活用
- (2) 事業計画実施に伴う施策・支援等の周知
- (3) 情報交換会の開催

支援内容	30 年度目標	28 年度実績	29 年度実績	30 年度実績
①フォローアップ件数	9 0 件	61 件	75 件	1 3 3 件
②ビジネスモデル構築事業者数	1 件	—	—	3 件

(補足事項) ②ビジネスモデル構築として事業計画策定支援及び需要開拓支援により新規取引先獲得 7 社と 3 社を獲得した木製品製造、製麺業者の 2 社及び、事業計画策定支援による補助事業採択により自動車整備部門前年比売上 5% 増及び新規事業における売上目標 300 万円を達成した自動車整備業者 1 社をビジネスモデルとして参入

5. 需要動向調査に関すること【指針③】

需要動向を掌握するために契約している日経テレコム調査システム等を活用し、小規模事業者の事業計画に沿った需要動向を把握し、事業計画策定への情報として提供する。また、(株)日本経済研究所や北海道よろず支援拠点と連携し、想定する市場の需要動向の情報提供と共に需要動向にあった商品開発及び販路開拓をするためのブラッシュアップ支援を実施していきます。

- (1) 最新の消費・トレンド動向等の把握による情報提供
- (2) 需要動向を踏まえた専門家によるブラッシュアップ支援

支援内容	30年度目標	28年度実績	29年度実績	30年度実績
①需要動向調査数	8件	16件	18件	17件
②専門家需要動向支援数	2回	1回	1回	2回

(補足事項) ①内訳：事業計画策定7件、個別相談8件、セミナー参加2件

②内訳：専門家需要動向支援 11月7日(1社)、12月11日(5社)

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】

当地域における一次産品を活用した新商品開発や全国展開に向けた販路拡大においては、日本商工会議所地域力活用新事業∞全国展開プロジェクトを活用し当所が支援・実施して首都圏等へ販路を拡大したビジネスモデルを構築しました。

小規模事業者の販路開拓においては、そのノウハウを最大限に活かし、商談シートの作成や催事における商談のポイントなど、きめ細かい指導・助言を実施します。また、催事に出席の際には、経営指導員等も可能な限り随行し、販路開拓支援を実施します。

- (1) 新商品等の開発及びブラッシュアップ支援の実施
- (2) 商談会・催事等への出店支援と商談シート作成支援
- (3) 情報発信強化とプレス発表会の開催

支援内容	30年度目標	28年度実績	29年度実績	30年度実績
①専門家招聘回数	3回	1回	1回	2回
②展示会・商談会参加回数	3回	1回	1回	3回
③展示会等出展者支援者数	5社	2社	2社	3社

(補足事項) ①日経BP総研 マーケティング戦略研究所 上席研究員 渡辺和博氏 (11月7日)

バイヤーズ・ガイド 発行編集人 永瀬正彦氏 (12月11日)

②IFFT/インテリア ライフスタイルリビング展示商談会 (11月14日～16日 東京ビックサイト)

まるごとにつぼん展示販売会 (12月1日・2日 東京浅草)

第25回グルメ&ダイニングスタイルショー春2019出展 (2月12日～15日 東京ビックサイト)

③円館工芸舎 (日の出1)、株式会社マルワ製麺 (大通南5)、有限会社三雄産業 (青山北)

7. 地域経済の活性化に資する取組

当地域は、人口減少に伴う小規模事業者数の減少や、隣接している中核都市への消費者流出といった問題に対して、平成21年度より日本商工会議所地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト等を活用し、全国展開する商品開発等を行ってきたものの、上記、諸問題に対応する有効な手段とまで至っていない現状です。

今後は、小規模事業者の持続的発展を促進する、域外からの資金流入による域内経済の活性化につながる事業を、関係機関と連携を密にして当商工会議所が中心となって取組んでいきます。

1) 美幌町観光まちづくり協議会による通過型観光客をターゲットにした滞在型観光開発

(1) 農産品の高付加価値化

○BIHOROBASE開催による農産品付加価値化

- ・7月16日 自衛隊記念式典会場（5店舗、売上112,100円）
- ・8月11日 びほろ夏まつり会場（8店舗、売上233,696円）
- ・9月1・2日 YOGACAMP会場（5店舗、売上49,958円）

○北海道まるごとフェア出展 会場：池袋サンシャイン

10月12～14日：4日間（2事業者4品、売上40,500円）

○美幌フェア開催 開催場所：どさんこプラザ札幌店

11月28日～12月4日（美幌認証商品26品、売上208,882円）

(2) 滞留型観光商品開発

①ヘルスツーリズム開発

○女満別空港ヒアリング調査（女満別空港ビル出発ロビー2F）

9月22日～24日、200サンプル（内、外国人8サンプル）

○ランドオペレーション機能構築に向けた勉強会及びセミナーの参加

- ・1月17日開催「民泊・体験説明会」AirBnb・民泊・体験提供者招聘（参加者37名）
- ・12月26日「網走観光シンポジウム・セミナー（地域資源活用）」参加
- ・2月1日「網走観光シンポジウム・セミナー（インバウンド）」参加

○新たなコンテンツの開発（6コンテンツ）

- ・感じる、美幌町で一生に一度の星空体験 道東唯一の星のソムリエと共に
- ・Let's cooking a Japanese lunch box
- ・“笑顔になる魔法” 日本文化折り紙体験教室 in bihoro
- ・Drink, eat, laugh! hopping in Bihoro
- ・感じる楽しさ、普段は味わえない大自然DIY体験
- ・美幌町唯一のお米屋「米夢館のごはんソムリエ」のふっくらごはんを味わう体験

○旅行会社等への営業活動の実施

- ・農村宿泊事業参画団体への相談・支援事業に関わる第一回地域支援会議（7月6日参加）
- ・一般財団法人 都市農山漁村交流活性化機構（8月31日訪問）
- ・株式会社JTB 教育第二事業部 営業推進課（9月2日訪問）
- ・株式会社日本旅行北海道（1月11日訪問）
- ・北海道オプショナルツアーズ株式会社（2月13日打合せ）

○有名インストラクター招聘による集客力向上

YOGA CAMP BIHOR02018 開催 [9月1日・2日] 美幌峠ほか4会場、27プログラム
インストラクター11名招聘 参加延人数：476名、チケット売上944,200円

②グリーンツーリズム開発

○星空観測会テストモニター事業の実施

7月7日、7月28日、7月30日、8月4日 (計4回開催)

会場：美幌みどりの村 参加延人数：71名 売上32,600円

○星空観測会実施に向けた研修会の参加

4月16日～19日「星空ビジネスセミナー」フォレスト・イン昭和館

星空案内人・星のソムリエ資格取得

○農業体験推進に向けた勉強会及び先進地調査の実施

第1回 農村ツーリズム研修会 [6月6日 15:00～ 経済センター]

講師 (株)ノースプロダクション 代表取締役 近江正隆氏 (参加者29名)

第2回 農村ツーリズム研修会 [2月25日 15:00～ 経済センター]

講師 (株)いただきますカンパニー 代表取締役 井田芙美子氏 (参加者60名)

6月15日先進事例調査 (十勝郡芽室町・浦幌町・幕別町) (3名)

○教育旅行の推進・受入

・大阪清風南海高校 (1回目) 大阪府高石市 売上234,252円

7月29日生徒15名・教諭1名、30日生徒18名・教諭1名 (合計33名)

・大阪高等学校 (2回目) 大阪市東淀川区 売上180,300円

3月3日生徒32名・教諭1名 (合計33名)

・12月13日「北海道教育旅行説明会・相談会」(参加3名) TKP品川カンファレンスセンター

○林業体験コンテンツ開発

・6月5日先進事例調査 [北海道川上郡下川町] (5名)

・8月9日林業体験開発事業「精油づくり体験プログラムモニター」雨天中止

(3) 計画実行に向けた会議等

○協議会 (総会) の開催 平成30年4月23日 (月) 15:00～ 経済センター

○幹事会の開催 (計8回開催) 会場：経済センター

第12回 4月13日 (金)、第13回 7月11日 (水)、第14回 8月20日 (月)

第15回 8月24日 (金)、第16回 11月13日 (木)、第17回 12月10日 (月)

第18回 2月6日 (水)、第19回 3月7日 (木)

○プロジェクト会議の開催 (延28回開催)

4/9 (5)、5/8 (4)・9 (1)、6/11 (1)・19 (1)・20 (3)、7/11 (1)・

20 (1)、8/31 (1)、10/22 (1)、11/29 (4)、12/7 (1)、1/31 (1)、

2/14 (1)、3/1 (1)・25 (1)・27 (1)

○シンポジウムの開催 (有名インストラクター招聘)

9月1日 (土) 19:00～20:30 美幌グランドホテル 参加者84名

テーマ「美幌が提唱する～新しい自分に生まれ変わる旅～」

日本のYOGAの聖地を実現するためには」

2) 商店街にぎわいソフト事業の展開

○得する街のゼミナールの開催

日 時：9月20日（木）～10月31日（水）

参加企業：18社 開講数：27講座 参加人数：126名

8. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

他の支援機関との支援ノウハウ等の情報交換に関する課題は、これまで経営改善普及事業等で関係事案が生じた際に、経営指導員が連携先を選択し、連携を図る状況下のため、小規模事業者の課題解決策に関する支援ノウハウ等の情報交換は行われていませんでした。

今後は、次により経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のため、他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換を図ります。

支援内容	30年度目標	28年度実績	29年度実績	30年度実績
①(株)日本政策金融公庫北見支店国民生活事業との情報交換会等	1回	3回	3回	2回
②中小機構北海道本部との情報交換	—	1回	2回	3回
③北海道経済産業局知財総合支援窓口との情報交換	—	0回	0回	1回
④6次産業化などの成功事例やビジネスモデルなどの情報交換	—	1回	1回	1回

(補足事項) ①小規模事業者経営改善資金貸付推薦団体連絡協議会（2回）

②中小機構北海道本部の専門家による事業承継個別相談会（3回）

③北海道経済産業局知財総合支援窓口による知財個別相談会（1回）

④(株)日本政策金融公庫北見支店農林水産事業部との情報交換（1回）

※その他支援機関との情報交換

北海道信用保証協会北見支店意見交換（1回）、北海道中小企業総合支援センター（2回）

北海道よろず支援拠点オホーツク支部（2回）、しんきん支援ネットワーク（2回）

9. 経営指導員等の資質向上等に関すること

経営指導員等の資質向上については、北海道商工会議所連合会の定める研修体系要綱による中小企業大学校における研修を年1回受講していますが、個々の情報収集の域に止まり研修内容の共有も行われず、地域経済の活性化や小規模事業者への支援に繋がっていません。また、記帳、税務、労働に関する指導スキルはあるものの、事業計画策定支援や販路開拓など小規模事業者が抱える課題に対して、支援できるスキルの習得と支援体制の整備が急務となっています。

今後は、以下により小規模事業者の持続的発展に資する支援を一貫して実行するため、上記支援に必要な研修の受講とOJTによる支援ノウハウの共有を図り、意識改革も含め支援体制の整備をしていきます。

支援内容	30年度目標	28年度実績	29年度実績	30年度実績
①研修会等の参加による資質向上	3回	5回	6回	4回
②職員間の支援ノウハウの共有化による資質向上と意識改革	12回	0回	0回	4回
③専門家や研修会・セミナーへの同席等による資質向上	—	13回	11回	17回

(補足事項) ① 深田 裕二「事業承継・廃業支援の進め方」(8/28～8/30)

伊藤 健一「経営発達支援事業の進め方」(7/2～7/4)

「消費税軽減税率対策窓口相談等事業研修」(7/23・24)

「2018年度データ分析力向上特別研修会」(10/11・12)

② 消費税率引上げ・軽減税率導入対策に資するクラウド会計モバイルPOSレジ等オンラインセミナー受講(深田裕二・伊藤健一・河野 聡)

オホーツク商工会議所経営指導員連絡協議会にて6商工会議所の経営指導員等における支援ノウハウの共有化の実施(6/12、10/3、1/21)